



議員 山崎 昌 泰 (政 和 会)

問 着実な土地利用を

答 確実に実施する

問 日向の脇地区と旧観光船乗り場付近の乗り越し道路について説明がないが進捗状況は。

佐藤町長 施工者である宮古水産振興センターによると、日向の脇線は4年9月末、乗り越し道路の整備は5年3月末の完成を目指しているとのこと。

問 防潮堤と乗り越し道路は一体で完成しなければ完成と言えないのでは。

佐々木建設課長 一体で同時に完成することが望ましいと私も考えている。地区の方々には工程及び進捗状況について、迂回路情報と併せて、かわら版で周知を行う。

問 山の内地区の乗り越し道路完成後は以前に比べ利便性は向上するの

町長 漁港に接する山の内港線も船揚げ場の高さ

まで嵩上げし舗装を行うことから、排水機能改善と併せて、利便性も向上する。

問 田の浜第8団地の一部が土砂災害警戒区域に

問

所得向上の施策を

答

支援策の検討を重ねる



町の活気にもつながる潮干狩り

指定されている。町の対応策は。

建設課長 適切な管理方法等を含めて、対策を研究していきたい。

問 年末に町が実施した送料無料キャンペーンは生産者、町内事業者、そ

して町民に好評を得たようだが、その実績は。継続を望む声があるようだが、町の方針は。

町長 三陸やまだ漁協など町内14事業者が出店し、3007件の販売件数であった。4年度も販路拡大の支援策として実施する。

問 船越湾漁協では3年度から、三陸やまだ漁協は4年度から藻場造成事業に着手する。養殖も必要だが、この事業の方に力を入れるべきでは。

野口水産商工課長 藻場造成事業にはウニの間引きが必要不可欠なのでそこまで行っていききたい。実現のため努力する。

問 以前からあさり養殖の話があり、4年度には

調査事業を行うが説明を。

水産商工課長 関口川、織笠川、細浦地区で分布調査や有害生物や土壌を調査し効果的な策について分析する。

問 調査の結果を踏まえ、将来的には、潮干狩りの場所として指定するのか、町として管理するのか、それとも漁協と共有するのか。

水産商工課長 現時点では計画はないが、検討は必要である。以前のようにあさりまつりができればと考えている。

問 交通網が整ってきた今のうちに定期的なイベントを計画しては。

町長 重要な取り組みとしており小規模でも魅力あるイベント開催を検討して、実現に努める。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。